

事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年4月5 日

事業所名 児童発達支援事業シャイン

		チェック項目	はい	いいえ	わから ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		1	元々、リハビリスペースだったの で、見学に来た方からも広い と言われております	3
	2	職員の配置数は適切である	4	1	1	利用人数に合わせている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			構造化は、写真、文字など子ども 達に合わせています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		毎朝の掃除、整頓をしている	トイレは大人用のため、来年度子ども トイレ整備に向け、計画しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が 参画している	5		1	朝にミーティングをしている 毎月会議をしている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等 に対して事業所の評価を実施するととも に、保護者等の意向等を把握し、業務改 善につなげている	4		2	懇親会などで意見をうかがっ ています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評 価表の結果を踏まえ、事業所として自己 評価を行うとともに、その結果による支 援の質の評価及び改善の内容を、事業所 の会報やホームページ等で公開している	5		1	シャイン専用LINEを活用させ てい ただいております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果 を業務改善につなげている	5		1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保している	5		1		
適切な支 援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保 護者のニーズや課題を客観的に分析した 上で、児童発達支援計画を作成している	5		1	家族の意見を聞き、上半期の振 り 返りの会議で職員の意見をま とめ た上で、下半期の計画を作成	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツール を使用している	6				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガ イドラインの「児童発達支援の提供すべ き支援」「発達支援(本人支援及び移 行支援)」、「家族支援」、「地域支 援」で示す支援内容から子どもの支援に 必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されている	5		1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ている	6				
	14	活動プログラムの立案をチームで行って いる	6			月担当、行事担当かおり、活 動を 立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫 している	5		1	月末会議で振り返りをしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせ児童発達支援計 画を作成している	6				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われる支援の内容や役割分 担について確認している	6			毎朝ミーティングをし、参加 でき なかつた職員に周知できるよ う、掲示板があります。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有している	4	1	1	振り返りが翌日になってしま う時 もあります。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげている	6				
20	定期的モニタリングを行い、児童発達 支援計画の見直しの必要性を判断してい る	6					

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			行政に相談させていただく機会が多く、非常にありがたく感じています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	-		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	-		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			今年度も小学校、幼稚園、保育園、児童発達支援と連携、引継ぎさせていただきました。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	3		来年度は交流できるよう、努めて行きたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3		3	今年度は一名の参加でしたが、共有できる職員も参加していきたいです。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			働いてなかなか会えない家族は連絡帳を通し、状況を把握させていただいています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6				
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		2		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		2		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			シャインだよりを毎月発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		1		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	2		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		2	避難・火災・防犯・引き渡し連絡を行いました。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			年度初め、連絡帳に記載していた	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		1	厨房に協力していただいている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		2		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。